

卯の木常会  
安田さん  
ご一家



【一言コメント】  
みんなが気軽に集える  
飲食店があるといいなあ・・・

郷沢常会  
名畑さん  
ご一家



【一言コメント】  
小学校、子どもが少なすぎると心配したが、和気あいあいとして、いい学校です。

「移住者の方に聞いてみました！・Q&A」

インクビュノ全組2年夏

- Q 移住のきっかけと決めたのは？**  
A 諏訪湖周辺から家を探して、福与は広々としたいいところだと感じました。林檎畑を振付た当りの良いこちらの物件を紹介されて、家は古かったけど景色が良かったので即決しました。
- Q 移住する前と今の印象はちがいますか？**  
A 伊那谷は以前住んでいたイタリアのトレントという地方によく似ています。アルプスの入口で工業と農業のバランスが良く、経済活動も盛んでした。伊那谷は山がちな立地とほどよい平野部でも気に入っています。
- 福与へ移住を考えている人へのメッセージ**  
地域の皆さんはたくさん情報とネットワークを持っているので、いろいろと教えてもらいながら生活をしていくことが大事だと思います。都会では孤立しても生活できる仕組みができていくけど、田舎ではなかなかそうはいきませんね。地域活動の自治会ではお互いがコミュニケーションを取ることで安心して暮らせるようになりました。

- Q 移住のきっかけと決めたのは？**  
A 家を探していて、リフォーム中の物件があることを紹介されました。決め手の一番は、映りがよかったです。賃貸明けが一望できる。箕輪町からの景色が物凄く良くそれで即決しました。
- Q 移住する前と今の印象はちがいますか？**  
A 景色が良く印象は変わりません。
- 福与へ移住を考えている人へのメッセージ**  
排他的な所がなく歓迎してくれる。構えているところもなく、入り込まれすぎず程よいところです。

- Q 住んでみて良かったことは何ですか？**  
A 家々の間に壁がなくて広々しているところが気に入っています。また大都会へのアクセスも意外に簡単にピッキリしました。
- Q 住んでみて苦労されたことはありますか？**  
A 家と戸トリのセリアでの改修は大変でしたが、今となってはいい思い出です。移り住んだのがまだリフォーム前で、費の代わりはスノコの上で生活していたことが懐かしいです。
- Q 住んでみて思う！福与に望むことは？**  
A いつまでも緑豊かな生き生きした田舎であってほしいです。



福与の景観

福与は、箕輪町の南東に位置し、山麓の段丘地にあって、概ね西に傾斜して日当たりの良い明るい土地です。地元の箕輪南小学校の校歌に「朝日に光る駒ヶ岳、夕日にひびく天竜川」と歌われているように、眼前に雄大な中央アルプスの山並みが眺められ、眼下には、北から南へ天竜川がまさに龍が舞うことくたすむ姿はどこか異国の風景にも似た空想の世界へと誘います。さらに箕輪町から北は辰野町、南は南箕輪村から伊那市さらにその先が一望でき、爽やかに流れる風と相まって心が洗われる気分になります。令和元年に福与公民館西側駐車場に絶景スポット看板を設置し、区民はもとより町内外の皆様への憩いの場として、「天空の郷」福与の魅力の一つとなっています。



■写真提供：箕輪町郷土博物館・箕輪町観光協会・白鳥資重氏・田中謙二氏 ■制作/印刷：デザインファクトリー ■改訂版発行：令和3年10月/福与区



福与公民館

【桜の名所】

福与公民館付近の桜は、ちよつとした名所になっています。眼下に広がる景色と一緒に桜を楽しめます。また、福与城跡では桜と水仙のコラボレーションも楽しめます。



梵地公園の桜映像

※福与区ガイドブックのタイトルについて  
「こんちゅわ 福与！」は、箕輪町の方で、「こんには」の意味です。

福与区ガイドブック

箕輪町地域総合活性化交付金認定事業

# こんちゅわ 福与！

とろろ  
住みたい・住み続けたい魅力あふれる故郷

福与からの景色

福与全景映像みてね！

【区民インタビュー】

福与にあっていいもの

- 西永市場・居酒屋
- 雑貨店・農機具店
- 民宿・アスレチック施設
- スケートボード施設
- 手打ちそば屋

福与はスポーツが盛ん！

- ゴルフ・ソフトボール
- ダンス・ウォーキング
- ソフトバレー・百歳体操
- 少年野球・ジョギング
- 全区民参加の運動会

テレワークの動きは止まらない。業種によってはとくにこちを向いている。外へ外へ。

福与にはこんなに働く(起業)環境があります！

- 農業・・・稲作、果樹園、野菜、酪農、そば、花き
- 六次産業・・・加工品（ほちのこ、いなご、ほちみつ、乳製品、漬物、発酵食品）
- 林業・・・間伐作業、きのこ、山菜、里山整備
- テレワーク・・・空き家活用
- 観光・・・自然体験スクール開校、土手草刈り体験、源木の手入れ体験、史跡巡り

## ■福与区の特徴

福与区は、中央アルプス、南アルプスを見渡し、眼下に伊那谷を一望する優れた眺望景観に恵まれた自然豊かな地域です。美しい夕日が稜線に沈む姿、冬晴れの朝の澄んだ空気に映える山並みは、昔から変わらずに私たちの生活に恵みを与えてくれます。

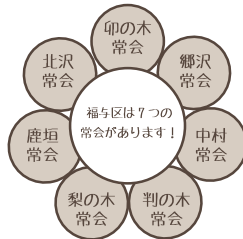
私たちは、この地域で先人たちが受け継がれた伝統や文化、温かく人を包みこむ風土を大切に育んできました。

現在では、区加入率が町内一を誇り、近所、常会、世代を超えたまとまりのある暮らしやすい区へと成長しています。

私たち福与区民は、来るべき人口減少、少子高齢化社会を念頭に次のような区を目指します。

1. 誇るべき自然や景観を守り次世代へと伝えます。
2. 互いに助け合い支え合うよき伝統を、世代を超えて守り繋いでいきます。
3. 諸問題には区民の英知を集結して取り組み「福」がもたらされる区を目指します。（箕輪町第五次振興計画より）

## ■福与7常会



観音原からの景色 写真提供：令和元年箕輪町観光協会編纂委員会 白鳥直重氏「福与柳田の夕暮れ」

**FUKUYO!**

## ■区民の交流

「向こう三軒両隣」という言葉がありますが、イザというときはお互いに助け合うのが人情です。そのためには日頃からの付き合いが肝心ですが、福与区は、公民館の行事やグループ同志の集まりで、子供から大人までコミュニケーションをとっています。また、「福与の農地を守る会」や「福与と人を元気にする会」など地域の活性化につながる集まりも生まれています。人を見るなら福与へ来い！人の好きさと気風の良さ、頼まれたらいやと言えない気質が福与人です。



花いっぱい運動



区民文化祭



どんど焼き



区民ハイキング



区民納涼祭



区民運動会



敬老会



朝人祭りともどもこし奉納

## ■福与の歴史と文化

福与の歴史は古く、それは区内に数多くある遺跡や史跡、古墳や城跡等から伺い知ることが出来ます。特に県指定史跡の福与城跡は、天文年間における武田信玄の侵攻に際して、藤沢綱親（ふじさわのりむね）が伊那与力衆と共に五十余日にわたって善戦した城です。また、文化人も輩出され、今を生きる私たちの誇れる財産として、脈々と伝えられてきています。



### 【福与城跡】

創設は鎌倉時代と伝えられ、城主については不明。遺構を良く残し、段丘上に戦国時代の居館と軍事的防衛の機能を兼ね備えた伊那谷地域の特徴を示す貴重な中世城館跡。

### 【観音原】

観音原には三十基近い石仏あり、如意輪観音は六基もある。一箇所にこれだけ揃っているのは珍しく、最も古い如意輪観音彫坐像は、宝暦十三年(1763)のもです。

### 【福与諏訪社】

福与諏訪社は諏訪大社の分社で、天文二十三年(1555)、武田信玄が下伊那松尾城攻めの節、福与城に立寄り一宿、諏訪社へ謝恩として御朱印七貫文を寄進、戦勝祈願をした由来があります。

### 【福与三塚】



木性海塚



圓海塚



万海塚

### 【福与の榎の木】

福与諏訪村入口にある、推定年齢三百年の榎の木。  
 ・高さ：15メートル  
 ・径：1.06メートル  
 ・周：約3.3メートル

## ■福与の先人

### ■白鳥白駒 (しろとりはっく) 1871~1916

産垣出身の白駒さんは、同期生の横山大観などと共に橋本雅邦の教えを受け、その画法は、芳崖、橋本雅邦などに代表される明治画壇の新しい流れをくんだものでした。

其実画の妙味を生かしたいわゆる骨法精神の探求を行い、山水・人物・仏画等を得意としました。



白鳥白駒作「達磨」

### ■登内政文 (とのうちまさふみ)

福与郷沢在住の登内政文さんは、八十四歳の時、昭和六十二年一月「箕輪の方言」を発行しました。

近年、動植物をはじめあらゆる文化財の保護、更に閑寂に随分と努力が払われるようになっていく。私達の先祖が幾百幾千年にわたって受け継ぎ増われてきた土地の言葉は、私達の生命であり、文化財として考えられる。これが、影も形もなくなってしまうものであろうか! (「箕輪の方言」より)



箕輪の方言・黒い鍋

### ■那須野操 (なすのみさお)

福与郷沢在住の那須野操さんは、作品集「黒い鍋」を出版。「百好きて、百なしでは淋しくて住方がないのに、最後の五分間が、いつも待っていてくれず、焦がしてしまうのです。」(「黒い鍋」より)

## 【でんでん山と鹿頭行列】

でんでん山の名前の由来は、御座頭(し)踊りの太鼓の「でんでん」という音から来ていると言われています。

御座頭奉納神事は、永禄元年(1580)夏、大干ばつがあり、箕輪城主が南宮神社に雨乞いの祈願をし、その神徳に感謝して、御座頭七十五頭を供えた奉賛の神事に始まる。

鹿頭行列は、福与公民館を出発して区内を巡ってでんでん山へ、ここで三回廻った後、南宮神社に向かいます。



でんでん山



鹿頭行列



### 【大原遺跡群】

古く縄文早期からの土器・石器など遺物が散在し、大原・黒津原・矢田・矢田尻・上金・上の山・北垣外などの遺跡が集中しています。その記録や資料は箕輪町郷土博物館に収納、展示されています。